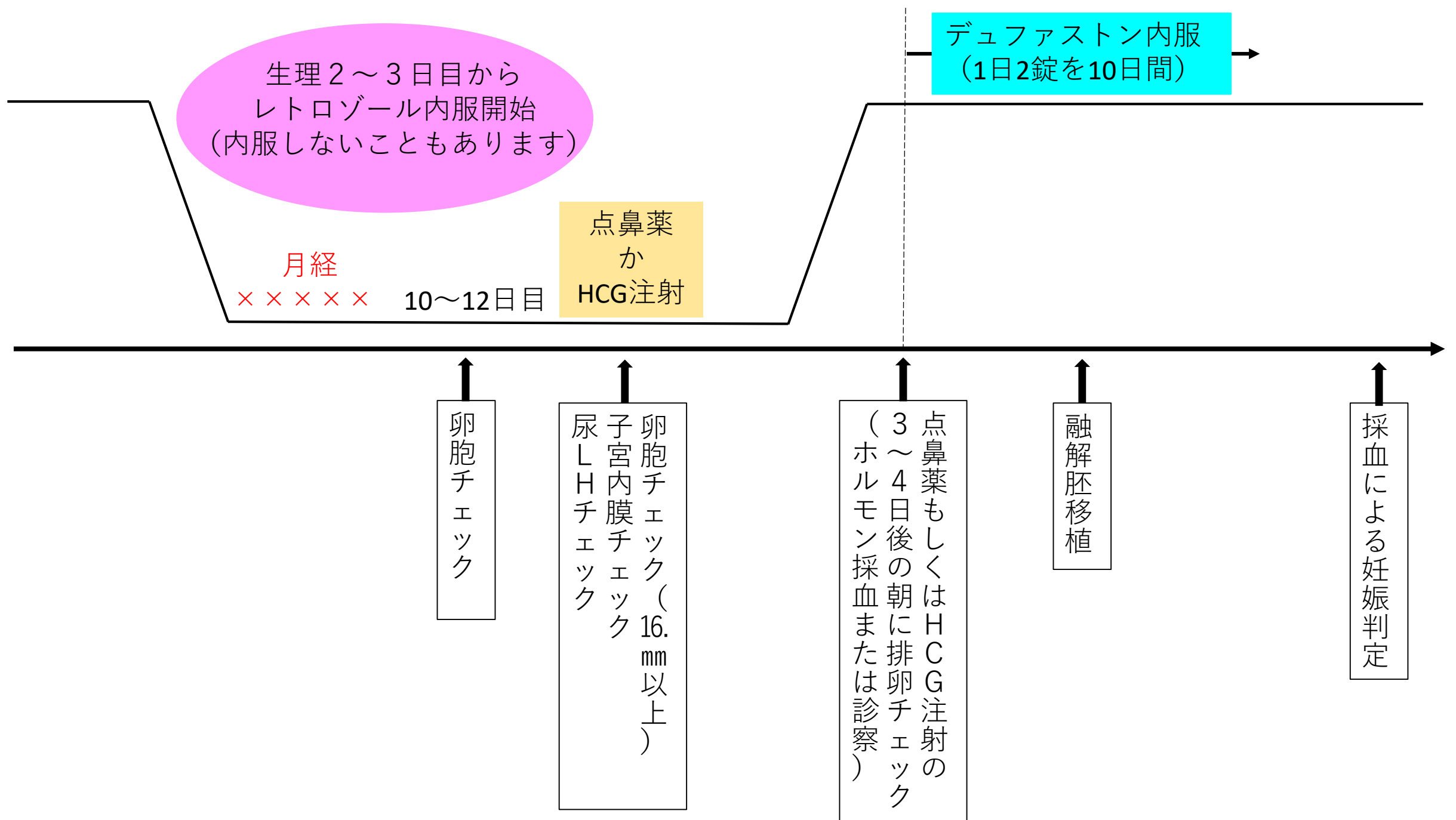


自然周期またはレトロゾール周期での融解胚移植プロトコル



1. レトロゾール周期の移植を計画している場合、生理開始の2～3日目にご来院ください。予約枠は「3日目まで」です。来院後、尿検査をおこなう場合があります。レトロゾールを処方します。当日から内服を開始してください（1日1錠を5日間）。
2. 10～12日目に来院してください。卵胞チェックをおこないます。予約枠は「ART卵胞チェック」です。卵胞径が16mm以上の場合は、子宮内膜チェックと尿LHチェックもおこないます。16mm以下の場合は、再度「ART卵胞チェック」でご予約のうえご来院ください。
3. 排卵を促すための点鼻薬またはHCG注射の指示があります。
4. 点鼻薬またはHCG注射の3～4日後の朝に排卵チェック（ホルモン採血または診察）をおこないます。予約枠は「排卵確認」です。デュファストンを処方します。当日より内服を開始してください（1日2錠を10日間）。また、融解胚移植の日程を決めます。
5. 移植日当日は尿を溜めてきていただく場合があります（トイレに行きたくなるぐらいまで）腹部エコーの場合、尿が充満することにより移植がスムーズに行えます。

注意

- ・採卵にむけてDHEA（デヒドロエピアンドロステロン）を内服されていた方は、今移植周期では内服を中止してください。
- ・前周期に中・高刺激採卵をおこなった方は、最低1周期空けていただくか、ホルモン調節周期での移植になります。